



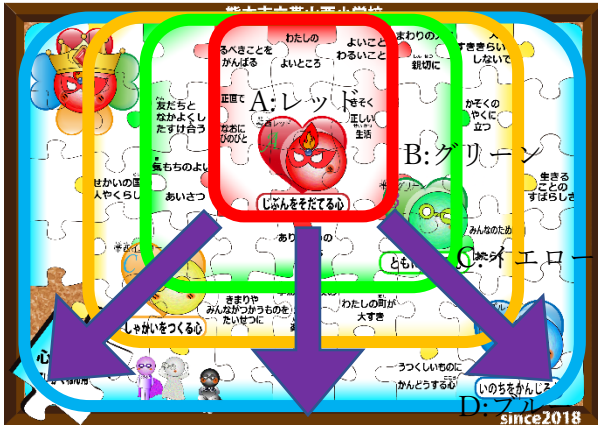
おびにしわくわく通信

NO.34

2022.05.31





文責: 荒木

「心のパズル」part2



以前、「わくわく通信 NO.14」で紹介した通り、本校の教室や児童玄関などには、「心のパズル」というポスターが掲示されています。「心のパズル」は、4つの視点をA⇒B⇒C⇒Dの順に同心円状で表してあります。「心のパズル」は子供たちにも浸透してきています。例えば、運動会で、「どんな心が伸びたの?」と問いかけると、子供たちは、「帯西〇〇、わけは・・・」と答えるようになってきました。今回は、その拠り所となる「心のパズル」のピースの早見表を紹介するので、ぜひご覧ください。

今回、その拠り所となる「心のパズル」のピースの早見表を紹介するので、ぜひご覧ください。

4つの心	キーワード	低学年(1・2年生)	中学年(3・4年生)	高学年(5・6年生)
 自分を育てる心	善悪の判断、自律、自由と責任	よいことわるいこと	正しいことを自信をもって	しっかり考えて責任ある行動を
	正直、誠実	正直ですなおにのびのびと	正直に明るい心で	誠実に明るい心で
	節度、節制	きそく正しい生活	よく考えて節度ある生活を	生活を見つめ直し、節度・節制を
	個性の伸長	わたしのよいところ	よいところをのばす	長所を伸ばし、短所をあらためる
	希望と勇気、努力と強い意志	やるべきことをがんばる	目標をもってやりぬく	より高い目標に向かってやりぬく
	真理の探求			真実をさがしもとめる
 ともに生きる心	親切、思いやり	まわりの人に親切に	相手を思いやって親切に	相手の立場に立って親切に
	感謝	ありがとうの気持ち	周りの人への感謝	感謝し、こたえる
	礼儀	気もちのよいあいさつ	礼ぎ正しく	時と場に合ったれいぎ
	友情、信頼	友だちとなかよくたすけ合う	友達を信じて助け合う	友達を信じて友情を深め異性を理解する
	相互理解、寛容		相手の考えを大切に	広い心でわかり合う
 社会をつくる心	規則の尊重	きまりやみんながつかうものをたいせつに	きまりがわかり、守る	進んで法やきまりを守り、義務を果たす
	公正、公平、社会正義	人のすききらいをしないで	だれにでも分けへだてなく	公平・公正な態度で正義の実現を
	勤労、公共の精神	みんなのためにはたらく	進んでみんなのために働く	働く喜びをもちみんなのために役立つ
	家族愛、家庭生活の充実	かぞくのやくに立つ	楽しい家庭をつくる	家族の幸せを求めて進んで役に立つ
	よりよい学校生活、集団生活の充実	学級や学校の生活を楽しく	みんなで協力楽しい学級や学校に	役割を自覚し、よりよい学級や学校をつくる
	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	わたしの町が大すき	ふるさとのでんとう文化をたいせつに	国や郷土を愛する
 命を感じる心	国際理解、国際親善	せかいの国のひとやくらし	世界の国々に親しむ	世界中の人たちといっしょに
	生命の尊さ	生きることのすばらしさ	生命を大切に	かけがえのない生命
	自然愛護	生きものにやさしく	自然や生き物を大切に	自然環境を大切に
	感動、畏敬の念	うつくしいものにかんどうする心	美しく高いものに感動する心	感動する心や畏敬の念をもつ
	よりよく生きる喜び			人間としての生きる喜びを感じる

家庭の中でも、お子さんに、「どの心が必要か、どの心が伸びたのか」と問いを繰り返すことで、子供たちも自分の心を見つめ直し、「この心を伸ばすために、こんなことを頑張ろう!」という目標をもつようになります。そして、上記の評価ツールを家庭の中でも使い、お子さんの行動を認めていくことで、道徳性を育む機会となるのです。